令和３年度

教育に関する事務の点検・評価報告書

〔令和２年度事業対象〕

佐野市教育委員会

（はじめに）

平成１９年６月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され（平成２０年４月１日施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとなりました。

これを受けて、佐野市教育委員会では、効果的で効率的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民に対する説明責任を果たすことを目的に、学識経験者の知見をいただきながら事務報告書を基にした令和２年度実施事業の点検・評価を行い、報告書を作成いたしましたので公表します。

令和３年９月
佐野市教育委員会

（参考）「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）

第２６条（一部省略）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目　　次

１　点検・評価の対象及び方法　……　１

２　教育委員会活動　……　２

３　教育委員会事務局各課

（１）教育総務課　……　３

（２）学校管理課　……　８

（３）学校教育課・学校給食センター　……　１４

（４）教育センター　……　２０

（５）生涯学習課・少年指導センター　……　２３

（６）文化財課・郷土博物館・葛生化石館・葛生伝承館　……　３０

４　全体を通しての委員からの意見……　３８

１　点検・評価の対象及び方法

（１）点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会事務局各課が実施した全ての事務事業とした。

（２）点検・評価の方法

学識経験者の知見の活用を図るために、事務事業評価委員からの意見をいただいた。

令和２年度に佐野市教育委員会が実施した２７８の事務事業のうち数事業を評価委員が選択し、各課が考察した。

委員の方は次のとおりである。

（敬称略）

氏　名	経歴等
片柳　岳巳	元佐野市教育委員会委員
白澤　幸治	元佐野市代表監査委員
小曽根美栄子	元佐野市立石塚小学校長

２　教育委員会活動

１　組織

・教育長１名、教育委員４名

２　教育委員会の活動状況

（１）委員会の開催

定　例　会 臨時会の別	開催回数	付議事件件数	
		議　案	報　告
定　例　会	１２	５５	２０
臨　時　会	１	３	０

（２）研修会等

事業名	期　日	場　所	内　容
佐野市教育委員会委員視察研修	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
栃木県市町村教育委員会連合会研修会			
安足地区市町村教育委員会連合会教育委員研修会			

（３）その他

学校訪問

	訪問日	訪　問　校
１	令和2.7.20	佐野小学校、南中学校、犬伏東小学校
２	令和2.11.10	あそ野学園義務教育学校、葛生南小学校
３	中止（※１）	天明小学校、犬伏小学校、城東中学校
４	中止（※１）	植野小学校、界小学校、西中学校
５	中止（※１）	赤見中学校、田沼東中学校

※１　新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

その他行事等についても新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になったことにより出席はなかった。

３　教育委員会事務局各課

（１）教育総務課

１　組織、事務分掌及び職員（令和２年４月１日現在）

区　　分	主　な　事　務　分　掌	職員数（人）
課長	課内全般	１
総務係	教育委員会の議事及び秘書、エネルギー管理、栄典及び褒賞、育英事業、部及び課の庶務	４
教育政策係	小中学校適正規模・適正配置基本計画（後期計画）の策定、教育振興基本計画の策定、コミュニティ・スクールの導入、通学路安全対策、その他教育施策に関すること	２
計		７

２　点検・評価

教育総務課は、佐野市総合計画に基づき、令和２年度に１１の事務事業を執行した。

その中の主な事務事業として、佐野市奨学金返済助成事業、奨学資金貸付事業、佐野市教育委員会エネルギー管理事業、コミュニティ・スクール推進事業について、次のとおり考察した。

（１）佐野市奨学金返済助成事業

基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり
政　策	誰もが住みたいと思う魅力あるまちづくり
施策名	移住定住の促進
基本事業名	定住化の促進
事業概要及び実施状況	若者の佐野市内への定住促進を目的とし、佐野市に住民登録があり、佐野市奨学金の返還を行っている者に対し、助成を行う。申請日から５年間市内に居住することを条件に、貸与されていた奨学金の月額の２分の１の額を助成。申請は１年に１回。 ・令和２年度佐野市奨学金返済助成事業補助金　　48人　1,170,000円 （@10,000×1 人、@15,000×1 人、@20,000×1 人、@25,000×45 人） 佐野市奨学金返済助成補助金交付要綱を制定（令和２年９月） 奨学金返済者２１２人全員に制度周知チラシ及び補助申請書を送付 【補助要件】申請時において本市に住所を有すること 令和元年１０月～令和２年９月の奨学金の完納返済
考　察	・奨学金返済者４８人より申請があり、全員に対し補助決定し、令和２年１２月中に支払いした。 ・勤労、勤務先を本市としていないこと、郵送による申請も可とし、手続き

	も簡素化し、簡便で申請しやすい環境としている。 ・令和６年度までの継続事業であることから、今後助成者を増やしていければ、若者の定住増、及び奨学金返済の収納率も増となることが見込まれる。

（２）奨学資金貸付事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	安全で安心して学べる教育環境の整備
基本事業名	教育の機会均等に資する奨学金制度の拡充
事業概要及び実施状況	○貸付金の内容

区　分	奨学金（月）
大 学 、 専 修 学 校 等	５０千円以内

・奨学生の定数：毎年度３０人以内（予算内）
・奨学金の返済は、貸与期間終了後半年経過した年の翌月から、貸与期間の４倍に相当する期間内とする。
・募集期間：令和元年１２月２日から令和２年１月１０日まで
応募者２７人、貸与確定者２７人
・追加募集期間：令和２年４月１日から４月１７日まで
応募者１人、貸与確定者１人

○令和２年度奨学金貸与額　（単位：千円）

	高　校		大学・専門学校		計	
新規貸与	廃止		28 人	16,320	28 人	16,320
既 貸 与	9 人	2,040	56 人	32,070	65 人	34,110
計	9 人	2,040	84 人	48,390	93 人	50,430

○奨学資金貸付金　元利収入

【令和２年度】　（単位：千円）

	調定額		収入済額		収入未済額	
元　　金	212 人	68,882	210 人	67,534	8 人	1,348
過年度元金	25 人	8,892	20 人	1,317	17 人	7,575
計	237 人	77,774	230 人	68,851	25 人	8,923

【令和元年度】　（単位：千円）

	調定額		収入済額		収入未済額	
元　　金	205 人	67,551	200 人	65,289	14 人	2,262
過年度元金	27 人	8,186	23 人	1,556	19 人	6,630
計	232 人	75,737	223 人	66,845	33 人	8,892

考　察	・令和元年に行った令和２年度奨学生新規募集では、２７人の応募があり、２７人に決定した。令和２年４月に追加募集を行い、１人の応募があり決定し、合計２８人が貸与となった。 ・奨学金貸付金の滞納については、令和元年度末での未納額と比較すると、滞納者は減少したが未納額が増加となった。今後、奨学生への督促状、連帯保証人への催告書の発送、電話催告、滞納整理を行い、滞納額の縮小を図る。

（３）佐野市教育委員会エネルギー管理事業

基本目標	美しい自然、環境と調和するまちづくり
政　策	地球環境に配慮したまちづくり
施策名	再生可能エネルギーの活用と省エネルギー対策の推進
基本事業名	省エネルギー対策の推進
事業概要及び実施状況	○事業概要 　エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）に基づき、特定事業者としてエネルギー管理が義務付けられている。教育委員会所管の全施設を対象とし、全体のエネルギー使用量の把握、エネルギー使用状況届出書の提出、エネルギー管理統括者等の選任、エネルギー管理の実施、中長期計画書（5か年）・定期報告書の提出を行う。 ○実施状況 【対象となるエネルギー使用量】 　電気（夜間ナイター設備を含む）、灯油、重油、軽油、都市ガス、 　プロパンガス　　※車両ガソリンを除く 　令和元年度、令和２年度の比較においては、図書館、公民館、博物館等が新型コロナウイルスにより休館となったこと及びあそ野学園義務教育学校開校に伴い小学校６校が閉校となったことにより、100.2%→96.0%に減少となった。 　※中長期計画（５か年）については2016年（平成28年度）を100%とし、以降４年間のエネルギー使用状況を比較する。 　　2017年（平成29年度）　101.6% 　　2018年（平成30年度）　101.1% 　　2019年（令和元年度）　100.2% 　　2020年（令和2年度）　96.0%
考　察	・教育委員会施設の省エネ化（電気量削減）を図ることを目的としており、その結果、ランニングコストが削減となる。 ・太陽光発電設備設置やＬＥＤ電球交換等施設の改修や空調設備投資を行なえば削減は期待できるが、年数を重ねるたび、前年比１%削減が難しくなると思われる。

	・近年の東日本台風及び新型コロナウイルス感染症対策等による電気使用については、適正な維持管理が困難な状況である。

（４）コミュニティ・スクール推進事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	特色ある教育と心の教育の推進
基本事業名	生きる力の育成
事業概要及び実施状況	○事業概要 　現在各校で実施している学校評議員制度から、地域と学校が一体となり子供たちを育成するコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）に段階的に移行していく。 ○実施状況 ・あそ野学園義務教育学校に学校運営協議会を設置 　協議会委員　１５名（あそ野学園義務教育学校長を含む） 　会議回数　３回 　※栃木県教育委員会「頑張る学校・地域応援プロジェクト事業」の研究指定校として、県教委と市教委が連携して支援し、協議会の運営支援、研修会の開催、リーフレットの作成・配布など協議会推進の基盤づくりをした。 ・葛生義務教育学校（令和５年度開校予定／開校と同時に学校運営協議会を設置予定）に対し、開校準備委員会（学校支援部会・ＰＴＡ部会）で学校運営協議会制度について説明した。 ・令和８年度までに市内全校をコミュニティ・スクール化する計画を立て、校長会議で周知した。 【設置計画】 　令和6年度　小学校Ａグループ（佐野小、天明小、植野小、界小、犬伏小、犬伏東小、城北小、旗川小、吾妻小） 　令和7年度　小学校Ｂグループ（赤見小、石塚小、出流原小、田沼小、吉水小、栃本小、多田小） 　令和8年度　中学校（城東中、西中、南中、北中、赤見中、田沼東中）
考　察	・葛生義務教育学校区については、学校運営協議会設置に向け、引き続き支援をしていく。 ・コミュニティ・スクールを推進する上で参考となる情報を発信していきたい。

委員からの意見 ・佐野市奨学金助成制度について、もう少し金額を充実させてほしい。 ・コミュニティ・スクール推進事業について、ぜひ推進してほしい。

前年度の委員からの意見及び報告

【意見】

給付型奨学金制度についても検討してほしい。

【報告】

給付型の検討を行ったが、原資となる育英基金が枯渇するため、難しいと考える。代替として令和２年度より佐野市奨学金返済助成事業を実施した。

（２）学校管理課

１　組織、事務分掌及び職員（令和２年４月１日現在）

区　　分	主　な　事　務　分　掌	職員数（人）
課長	課内全般	１
学校管理係	小中学校の適正規模及び適正配置の推進 学校予算の配分及び執行管理、教具及び教材の整備	４
学校施設係	学校施設の維持補修や学校敷地内の環境整備 スクールバスの運行管理	１３
計		１９

２　点検・評価

学校管理課は、佐野市総合計画に基づき、令和２年度に４７の事務事業を執行した。

その中の小中学校スクール・サポート・スタッフ配置事業、小中学校新型コロナウイルス感染症対策事業、小学校遊具改修事業、葛生・常盤中学校区小中一貫校整備事業について、次のとおり考察した。

（１）小中学校スクール・サポート・スタッフ配置事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	安全で安心して学べる教育環境の整備
基本事業名	安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況	○事業概要 ・教職員の働き方改革推進の一環として、教員に代わって資料作成や授業準備、学校行事・式典等の準備補助等を行うスクール・サポート・スタッフを配置する。 ○実施状況 ・学級数標準（１２学級）以上の天明小学校、植野小学校、界小学校、犬伏小学校、城北小学校、田沼小学校、あそ野学園義務教育学校（前期課程）、南中学校、北中学校に各１名配置。
考　察	・スクール・サポート・スタッフが配置されることで、これまで教員が一人で実施してきた業務を分担することが可能となり、教員の負担減、児童と向き合う時間の増加につながった。

（２）小中学校新型コロナウイルス感染症対策事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	安全で安心して学べる教育環境の整備
基本事業名	安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況	〇事業概要 **・小中学校新型コロナウイルス感染症対策学習環境整備事業** 学校保健特別対策事業費補助金が新設されたことに伴い、学校再開に際し、感染症対策等を徹底し児童生徒の学習環境を整備する。 **・小中学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業** 学校保健特別対策事業費補助金に学校教育活動継続支援事業が新設されたことに伴い、学校運営上必要な感染症対策を行うため、保健衛生用品等を整備する。 **・小中学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業** 学校保健特別対策事業費補助金に学校教育活動継続支援事業が新設されたことにより、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら子どもたちの学習保障及び教職員の資質向上のための教材及び参考図書等を購入する。 **・小中学校新型コロナウイルス衛生環境改善事業** 感染者が判明した学校について、再感染防止のため、施設の消毒を行う。 〇実施状況 **・小中学校新型コロナウイルス感染症対策学習環境整備事業** 各学校長からの要望をもとに学校再開に際して感染症対策を徹底した学習環境を整備するための備品等の購入を行った。 **・小中学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業** 各学校長から要望のあった新型コロナウイルス感染症予防対策のための保健衛生用品等の購入を行った。事業費の一部を令和３年度に繰越。 **・小中学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業** 令和３年度に事業を全額繰越。 事業内容として、引き続き感染症対策を行う中で使用量が増加するコピー用紙等の消耗品費の購入などの学習環境整備に要する経費及び教職員資質向上のための研修に係る図書購入などの経費を想定している。 **・小中学校新型コロナウイルス衛生環境改善事業** 感染者が判明した学校について、当該感染者が行動した範囲を特定し消毒を行った。消毒作業については専門業者への業務委託にて実施した。
考　察	・感染症予防対策を講じることにより、児童生徒・教職員が安心、安全に授業に取り組むことにつながった。

（３）小学校遊具改修事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	安全で安心して学べる教育環境の整備
基本事業名	安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況	〇事業概要 ・小学校の遊具については、経年劣化した施設が増加しており、改修が迫られている。児童の安全を確保するため、点検で指摘された遊具について、改修工事を実施する。 〇実施状況 **・田沼小学校５欄高鉄棒設置工事** 請負金額：1,179,200 円 工期：令和 2 年 11 月 2 日～令和 2 年 12 月 11 日 請負業者：（有）ノザワスポーツ 工事概要：田沼小学校における、老朽化した５欄高鉄棒の更新工事 **・田沼小学校７欄低鉄棒設置工事** 請負金額：882,200 円 工期：令和 2 年 12 月 14 日～令和 3 年 1 月 15 日 請負業者：（有）ノザワスポーツ 工事概要：田沼小学校における、老朽化した７欄低鉄棒の更新工事 **・佐野小学校７欄高鉄棒設置工事** 請負金額：1,284,800 円 工期：令和 3 年 1 月 15 日～令和 3 年 3 月 10 日 請負業者：（有）ノザワスポーツ 工事概要：佐野小学校における、老朽化した７欄高鉄棒の更新工事 **・犬伏小学校５欄高鉄棒設置工事** 請負金額：1,146,200 円 工期：令和 3 年 1 月 15 日～令和 3 年 3 月 10 日 請負業者：（有）ノザワスポーツ 工事概要：犬伏小学校における、老朽化した５欄高鉄棒の更新工事 **・石塚小学校９欄低鉄棒設置工事** 請負金額：1,068,100 円 工期：令和 3 年 1 月 15 日～令和 3 年 3 月 10 日 請負業者：（有）ノザワスポーツ 工事概要：石塚小学校における、老朽化した９欄低鉄棒の更新工事
考　察	・点検において指摘のあった老朽化した遊具について更新工事を行った。 ・令和２年度においては、点検結果により使用中止となっている鉄棒を中心に工事を実施した。

	・継続的に改修を進める中、鉄棒については授業で使用するため優先的に工事を進めており、安心・安全な体育授業の実施につながった。

（４）葛生・常盤中学校区小中一貫校整備事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	安全で安心して学べる教育環境の整備
基本事業名	市立学校の適正規模・適正配置の推進
事業概要及び実施状況	〇事業概要 ・葛生・常盤地区小中一貫校（葛生義務教育学校）の令和５年度開校に向け、校舎等の改修工事に取り組み、学校環境整備を進める。 〇実施状況 **・葛生義務教育学校校舎改修建築工事** 請負金額：1,468,500,000 円 工期：令和 2 年 9 月 29 日～令和 3 年 11 月 30 日 請負業者：大幸・酒庭・奥特定建設工事共同企業体 構造：鉄筋コンクリート造、3 階建て（改修工事部分） 鉄骨造、3 階建て（一部増築工事部分） 改修概要：屋上防水改修工事、外壁改修工事、建具改修工事、内装改修工事躯体改修工事、家具工事、各部撤去工事 **・葛生義務教育学校校舎改修電気設備工事** 請負金額：211,530,000 円 工期：令和 2 年 9 月 29 日～令和 3 年 11 月 30 日 請負業者：飯島・片柳特定建設工事共同企業体 工事内容：校舎改修及び一部増築に伴う電気設備工事 改修概要：電灯設備工事、動力設備工事、受変電設備工事、構内情報通信網設備工事、構内交換設備工事、情報表示設備工事、拡声設備工事、誘導支援設備工事、テレビ共同受信設備工事、火災報知設備工事、構内配電線路工事、各部撤去工事 **・葛生義務教育学校校舎改修機械設備工事** 請負金額：216,436,000 円 工期：令和 2 年 9 月 29 日～令和 3 年 11 月 30 日 請負業者：ケイノ・飯塚特定建設工事共同企業体 工事内容：校舎改修及び一部増築に伴う機械設備工事 改修概要：空気調和設備工事、換気設備工事、衛生器具設備工事、屋内給水設備工事、屋外給水設備工事、屋内排水設備工事、屋外排水設備工事、給湯設備工事、ガス設備工事、屋内消火栓設備工事、雨水排水設備工事、量水器移設工事、各部撤去工事

	・葛生義務教育学校プール改築建築工事 請負金額：184,800,000 円 工期：令和 2 年 9 月 29 日～令和 3 年 9 月 30 日 請負業者：篠﨑建設（株） 構造：ステンレス製プール：25m×13m（6 コース）（改築工事） 更衣室棟：鉄筋コンクリート造、平屋建て 工事概要：土工事、地業工事、鉄筋工事、コンクリート工事、型枠工事、防水工事、金属工事、左官工事、建具工事、塗装工事、内外装工事、家具及びその他工事、プール本体工事、日除けパーゴラ工事 **・葛生義務教育学校プール改築設備工事** 請負金額：34,650,000 円 工期：令和 2 年 10 月 2 日～令和 3 年 9 月 30 日 請負業者：青木設備工業（株） 工事内容：プール改築に伴う電気及び機械設備工事 工事概要　「機械設備工事」：換気設備工事、衛生器具設備工事、給水設備工事、排水設備工事、濾過機工事、消火設備工事、雨水排水設備工事、給水管引込切替及び量水器移設工事、各部撤去工事 「電気設備工事」：電灯設備工事、幹線動力設備工事、構内交換設備工事、各部撤去工事 **・葛生義務教育学校屋内運動場改修工事** 請負金額：100,727,000 円 工期：令和 2 年 8 月 25 日～令和 3 年 4 月 30 日 請負業者：（株）落合土木 構造：鉄骨造、2 階建て（改修工事） 工事概要「建築工事」：屋根防水改修工事、外壁改修工事、内装及び塗装改修工事、体育器具改修工事 「電気設備工事」：電灯設備改修工事 「機械設備工事」：衛生器具設備工事、給水設備工事、排水設備工事、各部撤去工事 **・葛生義務教育学校整備事業工事監理業務委託** 請負金額：28,380,000 円 履行期間：令和 2 年 9 月 16 日～令和 4 年 3 月 10 日 業務内容：工事監理業務 1 式 監理対象工事：校舎改修工事、プール改築工事、屋内運動場改修工事、校庭整備工事
考　察	・葛生・常盤中学校区小中一貫校（葛生義務教育学校）の環境整備については、令和５年度の開校に向け準備を進め、平成３０年度は「地質調査、体力度調査、及び基本計画」を、令和元年度は「実施設計」を行い、令和２年度は「校舎改

	修工事」「プール改築工事」「屋内運動場改修工事」を発注し工事に着手した。 ・継続費上、令和２年度分の工事が次年度へ逓次繰越しとなったが、工事全体としては予定どおり令和３年１１月に完成する見込みであり（校庭整備工事を除く）、令和５年度の開校に向け、順調に工事が進捗している。

委員からの意見

・新型コロナウイルス対策について、子どもたちや教職員の安全を確保する取組を進めてほしい。

・学校遊具について、子どもたちが使うものなので早めの改修をお願いしたい。

・学校遊具について、専門業者による定期的な点検を行ってほしい。

前年度の委員からの意見に対する報告

【意見】

今後義務教育学校の建設が進んでいくことになると思うので、学校施設の工事に当たっては補助金をうまく活用してほしい。

【報告】

葛生義務教育学校整備事業については、文部科学省の補助事業として、「学校施設環境改善交付金」における「長寿命化改良事業（校舎改修工事）」、「大規模改造事業（屋内運動場改修工事）」、「学校水泳プール新改築事業（プール改築工事）」を活用し工事を実施している。

上記交付金事業については、通常「補助率１／３」となっているが、葛生義務教育学校については統合事業として「補助率１／２」の特例措置を受けている。（学校水泳プールは特例措置の対象外）

今後の義務教育学校の整備についても統合事業であることから、交付金事業については同様に補助率の特例措置を受けることで、財源的に有利となるよう事業を進めていこうと考えている。

（３）学校教育課・学校給食センター

１　組織、事務分掌及び職員（令和２年４月１日現在）

区　　分	主　な　事　務　分　掌	職員数（人）
課長	課内全般	１
学務係	学齢児童生徒の就学、児童生徒の入学・転学・退学、教育支援委員会に関する事務、就学援助、医療扶助、保健衛生及び学校保健会に関する事務、日本スポーツ振興センターに関する事務、教科用図書無償給与、課の庶務	３
教職員係	県費負担教職員の任免等に関する事務、教職員に係る報告・届出・証明、教職員の研修、教職員の保健衛生に関する事務	３
指導係	教育課程及び学習指導や児童･生徒指導等に関する指導助言、研究学校の研究推進に関する指導助言、教科用図書採択及び教師用教科書･準教科書･副読本等の配付にかかる事務、ＡＬＴ及び日本語教室の指導員の配置、さわやか教育指導員、さわやか健康指導員、特別支援学級支援員の配置	８
学校給食係	学校給食の計画、調査、研究及び指導、学校給食施設の設置並びに管理及び運営、学校給食職員の研修	２（内係長は南部学校給食センター所長を兼務、主査は南部学校給食センター主査と兼務）
南部学校給食センター	給食の献立作成、調理、運搬及び栄養指導、食品材料の発注及び検収、施設の維持管理、給食費に関すること 受配校　１１校 佐野小学校　天明小学校　植野小学校　界小学校 犬伏小学校　犬伏東小学校　吾妻小学校 城東中学校　西中学校　南中学校　北中学校	４（内所長は学校給食係長との兼務）
北部学校給食センター	給食の献立作成、調理、運搬及び栄養指導、食品材料の発注及び検収、施設の維持管理、給食費に関すること 受配校　１８校 城北小学校　旗川小学校　赤見小学校　石塚小学校 出流原小学校　田沼小学校　吉水小学校　栃本小学校 多田小学校　葛生小学校　葛生南小学校　常盤小学校 氷室小学校　赤見中学校　田沼東中学校　葛生中学校 常盤中学校　あそ野学園義務教育学校	２２
計		４３

２　点検・評価

学校教育課は、佐野市総合計画に基づき、令和２年度に８９の事務事業を執行した。

その中の主な事務事業として、小中一貫教育推進事業、中学校運動部活動指導者派遣事業、小中学校健康管理事業、学校給食費管理システム導入事業について、次のとおり考察した。

（１）小中一貫教育推進事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	特色ある教育と心の教育の推進
基本事業名	小中一貫教育の推進
事業概要及び実施状況	○事業概要 ・　全小中学校を小中一貫教育推進ブロック（幹事校：各中学校）に指定し、各推進ブロックで推進する小中一貫教育の取組を支援する。また、学校教育指導員を１名配置し、その充実を図る。 ・　小中一貫教育推進ブロックごとに、９年間の継続した系統的な学習指導の在り方や児童生徒の交流活動などについて研究する。 ・　小中学校教員が共同して、９年間を見通した継続性のある指導を行うことで、「中１ギャップ」等の解消を図るとともに、本市の児童生徒に確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を図る。 ○令和２年度の実施状況 ・　新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事の合同開催など児童生徒及び児童同士の交流活動や、合同研修会など小中学校教員の交流･相互理解の促進が思うように進まなかったが、オンラインによる児童生徒の交流など、各推進ブロックごとに、それぞれの地域や学校の実情に応じて、工夫しながら小中一貫教育を研究、実践した。 ・　保護者向け啓発リーフレットを作成し、配付した。 ・　学校教育指導員による学校訪問回数・・・・延べ６４回
考　察	・　義務教育９年間を見通し、系統的、継続的な学習指導が行われることで、児童生徒の学習習慣の確立や確かな学力の定着を図ることができた。 ・　小・中学校の教職員が情報を共有し合い、一貫性のある継続した指導を行うことにより、「中１ギャップ」等の児童生徒の不安感を軽減することができた。 ・　小・中それぞれの教員が指導力、授業力などの資質の向上を図ることができた。 ・　小中一貫教育は今後も本市の重要な施策の一つとして取り組んでいく必要がある。

（２）中学校運動部活動指導者派遣事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	特色ある教育と心の教育の推進
基本事業名	生きる力の育成
事業概要及び実施状況	○事業概要／実施状況 ・　専門的な技術や指導力を備えた地域の指導者を中学校の運動部活動に派遣し、運動部活動の支援を行う。 【部活動指導員】 ・　指導時間　平日２時間（１０月～２月は１時間)、休日３時間 ※平日４日、休日１日の週５日、年間で２２５日を上限として派遣 ・　時給１，２４３円 ・　令和２年度は、２名の指導員を、２校、２運動部に派遣した。 新型コロナウイルス感染症の影響で、年間２８２時間の派遣となった。 【運動部活動外部指導者】 ・　指導時間　　１回２時間程度、年間３０回を上限として派遣 ・　謝金１回２，０００円 ・　令和２年度は、１７名の指導者を、７校、１５運動部に派遣した。新型コロナウイルス感染症の影響で、年間延べ２６７回の派遣となった。
考　察	・小・中学校の部活動に地域の外部指導者を派遣することは、児童生徒の多様なニーズに応じて活動ができるようになるとともに、児童生徒の技術の向上、更には、教職員の負担軽減にもつながるものと考えており、本事業の更なる充実を図っていきたいと考える。 ・令和３年度には、国の部活動改革としての地域部活動推進事業が本市においても実施され、市内の中学校１校をモデル校として指定し、休日の部活動の一部を、地域の活動運営団体から派遣される指導者が行うという事業が進められている。 ・中学校運動部活動派遣事業については、教職員の部活動指導の負担軽減のため大変効果的であると考えている。さらには、生徒の競技力の向上、精神面での成長にも大きな役割を果たしていると考えている。

（３）小中学校健康管理支援事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	特色ある教育と心の教育の推進
基本事業名	生きる力の育成
事業概要及	○事業概要

び実施状況	（概要） ・小中学校・義務教育学校の児童生徒及び教職員の健康増進を図る。また、健康で快適な学校環境をつくるため、適切な環境衛生の維持管理を行う。 ・学校医（内科・眼科・耳鼻科）、学校歯科医、学校薬剤師を各校に委嘱を行い、定期健康診断や健康に関する相談、環境の保持などを行う。また、産業医を義務教育学校に配置し、教職員の心身の健康増進を図る。 ・飲料水水質検査やプール水水質検査を年１回行う。なお２年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、プールの授業を実施しないことになったため、佐野市薬剤師会の意見をいただき、プール水水質検査は実施しなかった。 ・全児童生徒に対し腎臓検診を実施。小学１、４年生、中学１年、義務教育学校７年生に対し、心臓健診を実施。実施機関は、佐野市医師会に委託する。 ・就学前の健康診断を佐野市医師会、佐野歯科医師会に委託し実施する。 ・教職員の健康相談、ストレスチェック、胸部レントゲン検査、生活習慣病健診を実施する。 〇令和２年度の支給状況 学校医等報酬　４１，５９０千円 飲料水等検査　　３４９千円 検診等委託料　１７，５２２千円
考　察	・児童生徒及び教職員の健康保持・増進を図るために、佐野市医師会、佐野歯科医師会、佐野市薬剤師会等と連携を密に行い、助言等を求めていきたい。 ・教職員の時間外在校等時間の上限を「月４５時間以内」「年間３６０時間以内」とする指針が、文部科学省から示された。今後、長時間勤務となる教職員に対する面接指導体制の整備を検討していく必要がある。

（４）学校給食費管理システム導入事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	安全で安心して学べる教育環境の整備
基本事業名	安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況	〇事業概要 学校給食費は、各学校で教材費等とともに校納金の一つとして毎月口座振替により徴収しているが、担当者がその都度金融機関に直接出向いて手続きをする必要があり、その事務に多くの時間を割いている状態である。 また、給食費の滞納者に対する督促及び滞納整理事務も学校にとって大きな負担となっている。 そこで、令和３年度から給食費管理システムを導入し、学校給食費を学校に代わり市が徴収することで、学校の給食費に関する事務負担を軽減し、事

	務の効率化を図る。 【令和２年度の取組】 ・校納金システム用サーバを活用した学校給食費管理システムの導入 ・保護者への学校給食費口座振替依頼とシステム登録 【令和２年度学校給食費納入状況】 令和２年度学校給食費収入　451,357,950 円（徴収率 99.94%） 過年度滞納繰越（令和元年度以前）　1,166,373 円（252 件）
考　察	・令和３年度以降、市が直接徴収する専用のシステムを導入することにより、学校の負担の軽減と、事務の効率化が図れるものと考える。 ・市が直接給食費の徴収を行うこととなったことによる、学校給食費徴収率の低下が起こらないよう、学校給食費の管理を適切に行っていきたい。

委員からの意見

・新型コロナウイルス感染について、個人情報に留意しながら必要な情報を提供してほしい。

・複式学級になる学校が出てくることを見据えて、小中一貫教育を推進してほしい。

・部活動の外部指導者として適材な人を配置してほしい。

・部活動の外部指導について、指導者と学校で上手くコミュニケーションを図りながら運用してほしい。

・教員の健康面に配慮し、ゆとりを持って子どもたちに接することができるようにしてほしい。

前年度の委員からの意見及び報告

【意見】

小学校教員海外派遣研修事業について、自己負担を軽くして、希望する方にぜひ参加してほしい。

【報告】

昨年度に引き続き、令和３年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、本事業を中止している。来年度以降、事業実施の見通しが立ったら、改めて検討していきたい。

【意見】

新型コロナウイルスの感染拡大で困難とは思うが、訪問等で家庭に赴いて実態を見ることは大切なので、対応を考えてほしい。

【報告】

児童生徒の健全な育成のためには、保護者の理解・協力は欠かせないものであり、保護者との面談や家庭環境を知ることは、非常に大切なことであると認識している。

今後も新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、教育活動を進めていくよう学校へ周知を図っていきたい。

【意見】

教員の不祥事防止の徹底をお願いしたい。

【報告】

教育委員会では、定例校長会議や教頭・副校長会議において、教職員の不祥事防止に関する指導を行い、各学校では、管理職から全教職員に対して指導している。具体的には、児童生徒への体罰や人権を侵害する言動、パワハラ・セクハラの厳禁、交通規則違反の防止、個人情報の適正管理等、全国各地で発生している事例や教育委員会が得た情報を踏まえた内容を取り扱い、校長・教頭には教職員への継続的な指導をお願いしている。

また、文科省や県教委からの通知を受け、各学校への通知、全教職員への連絡掲示板での周知も適宜行い、年３回の教職員の服務規律強化月間では、指導資料を用いた指導を各学校にお願いしている。さらには、小体連や中体連の要請を受け、市教委の職員が各種研修会において、体罰防止に係る講話を行うこともある。

今後も、様々な角度から、教職員の不祥事防止の徹底に向けた取組を粘り強く行っていきたい。

【意見】

これから本格的に義務教育学校の設置が進んでいくことになると思われる。あそ野学園義務教育学校について実証・検証しながら、いい施策をとってほしい。

【報告】

毎年、各小中一貫教育推進ブロックでの取組を各校で情報共有をしている。昨年度は、あそ野学園義務教育学校の取組について各校へ紹介した。

また、今年度、１１月の主幹教諭・教務主任研修会において、あそ野学園義務教育学校の先生から、「あそ野学園義務教育学校の９年間を見通した教育課程の編成や特色ある教育」について、講話をいただく予定となっている。

今後も、あそ野学園義務教育学校の成果と課題について検証を図りながら、本市の小中一貫教育を進めていきたい。

【意見】

給食の製造過程や配膳、給食の時間の過ごし方等における衛生管理について、今後も気をつけてやってほしい。

【報告】

学校給食衛生管理基準等にのっとり、今後も衛生管理について細心の注意を払いながら行いたい。また、学校給食センター職員、配膳員、食材納入業者を対象とした衛生管理講習会や学校給食主任を対象とした会議、研修会等、機会をとらえて関係者の啓発にも努めたい。

（４）教育センター

１　組織、事務分掌及び職員（令和２年４月１日現在）

区　　分	主　な　事　務　分　掌	職員数（人）
所長	所内全般	１
教育センター	調査研究、教育相談、情報教育、特別支援教育、教育情報の収集と提供、教職員の研修、アクティヴ教室教育支援員等の配置、教育センターの企画運営、教育センター施設の維持・管理	５
計		６

２　点検・評価

教育センターは、佐野市総合計画に基づき、令和２年度に２０の事務事業を執行した。

その中の主な事務事業として、情報教育アドバイザー活用事業、ＩＣＴ活用自学自習支援事業、小中学校ＧＩＧＡスクール構想推進事業について、次のとおり考察した。

（１）情報教育アドバイザー活用事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	特色ある教育と心の教育の推進
基本事業名	教職員の資質の向上
事業概要及び実施状況	○事業概要 教育センターに配置した「情報教育アドバイザー」を佐野市立学校に適宜派遣して、各学校の情報化並びに情報教育の推進を図る。 ○実施状況 ・派 遣 校：市内１４校（小・中・義務教育学校）担当　１名 市内１５校（小・中）担当　１名 ※担当校を１か月で約１回の訪問 ・業務内容：コンピュータ等を使用した学習についての助言及び支援 学校 Web サイト作成等の助言及び支援 情報機器及びＬＡＮのトラブル等に対する助言及び支援 教育センターにおけるＩＣＴの活用に関わる業務 ・勤務態様：１日７時間、週５日間の勤務
考　察	・学校訪問の際（６・７月）には、学校から支援依頼をいただき、学校の実情に合わせて対応してきた。 ・ＧＩＧＡスクール構想推進のため、教育センターにおいて、システム等の構築準備、各種システム業者との打合せ、年度更新業務等を担当した。

（２）ＩＣＴ活用自学自習支援事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	特色ある教育と心の教育の推進
基本事業名	生きる力の育成
事業概要及び実施状況	○事業概要 　児童生徒の学習履歴に基づく教師による教材の提示、クラウドシステム、プリントを活用した児童生徒の予習･復習等の支援を行う。Wi-Fi 環境のない家庭においても、オンライン学習が可能となるよう、児童生徒に貸し出し可能なモバイル Wi-Fi ルータ等の機器を整備する。 ○実施状況 ・ｅライブラリの導入（契約日：令和２年６月１日、利用対象者：市立学校全児童生徒及び教職員） ・Wi-Fi ルータの購入（納品日：令和３年１月２９日、購入数：５３０台）各学校には、児童生徒数の約５%の数を配布済み。
考　察	・ｅライブラリについては、教育センターで全児童生徒、教職員分のアカウントを５月中に発行した。１人１台端末の導入前においては、前年度に整備したタブレットパソコンでの活用が見られた。また、１人１台端末導入後も利用できるようになり、朝の自習の時間等での活用が見られる。 ・モバイル Wi-Fi ルータについては、国の整備事業（１台当たり１０千円）を活用し、整備した。

（３）小中学校ＧＩＧＡスクール構想推進事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
施策名	安全で安心して学べる教育環境の整備
基本事業名	安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況	○事業概要 　パソコン室からフロアスイッチまでのケーブルを１０ギガに敷設替えを行うとともにルータ、無線ＡＰ及び充電キャビネット等を各教室等に設置する。ＧＩＧＡスクール構想実現に向けて一人一台の端末及び校内ネットワークを整備する。 ○実施状況 ・ネットワークケーブル等工事：葛生地区以外の市内２３校 ・充電保管庫の整備：市内全校に整備３７５台 　＜内訳＞　小学校：４４台用…１６８台、２２台用…８６台 　　中学校：４４台用…１００台、２２台用…２１台 ・一人一台端末の整備：７４９９台

考　察	・平成３０年度に整備したタブレットは、小学校・義務教育学校１年生が利用している。令和２年度に整備した端末は、小学校２～６年生、中学校１～３年生、義務教育学校２～９年生が利用している。 ・葛生地区の小、中学校においては、葛生義務教育学校の開校に合わせて市内他校と同様のネットワーク整備を行う。現状は、平成３０年度に整備したネットワークで対応している。 ・今年度は、各種ソフト等の研修を実施している。また、ＧＩＧＡ通信において、市内の学校の端末の活用状況を実践事例として紹介している。

委員からの意見

・小学校の頃からしっかりとした情報活用能力の育成をしてほしい。

前年度の委員からの意見及び報告

【意見】

教育の機会均等として、すべての家庭でオンライン学習ができるような環境を整えてほしい。

【報告】

全ての家庭でオンライン学習ができるように、ｅライブラリ（クラウドシステムによる学習支援システム）及び貸し出し可能なモバイル Wi-Fi ルータを整備した。

【意見】

不登校児生徒が一人でも多くアクティヴ教室に参加できるよう、アクティヴ教室がどのような活動を行っているか、積極的に発信してほしい。

【報告】

アクティヴ教室の活動状況については、教育センターの Web サイトにおいて紹介している。今後も個人情報に配慮して、情報の発信を続けていきたい。

【意見】

ＧＩＧＡスクール構想を踏まえて、情報教育アドバイザーの増員を検討してほしい。

【報告】

令和３年度において、１名の増員ができた。今後も授業のサポートを継続していきたい。

（５）生涯学習課・少年指導センター

１　組織、事務分掌及び職員（令和２年４月１日現在）

生涯学習課

区　　分	主　な　事　務　分　掌	職員数（人）
課長	課内全般	１
生涯学習係	生涯学習の企画及び総合調整、生涯学習推進協議会、生涯学習情報の収集・提供、調査研究、課の庶務	３
社会教育係	社会教育の企画及び総合調整、社会教育委員、家庭教育・成人教育・女性教育・青少年教育・社会教育の推進、社会教育施設、社会教育関係団体の指導助言、図書館に関すること	５
公民館管理係	公民館の管理及び運営、公民館運営審議会、公民館施設等の営繕保全の計画及び実施、各地区公民館との連絡調整、公民館開催事業の計画及び実施、敬老会事業、コミュニティ活動及び支援	３
（公民館）		７
計		１７

少年指導センター

区　　分	主　な　事　務　分　掌	職員数（人）
所長	所内全般	１（生涯学習課長兼務）
少年指導センター	少年指導センターの運営、青少年に関する相談・指導、立入調査・環境浄化活動	２（社会教育係長、社会教育係主事兼務）
計		３

２　点検・評価

生涯学習課・少年指導センターは、佐野市総合計画に基づき、令和２年度に８４の事務事業を執行した。

その中の主な事務事業として、佐野市生涯楽習フォーラム開催事業、図書館等指定管理事業、放課後子ども教室推進事業、新型コロナウイルス感染症対策成人式代替事業、市民大学開設事業、公民館利用状況について、次のとおり考察した。

（１）生涯学習推進支援事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	地域とともに学び育てるまちづくり
施策名	生活を豊かにする生涯学習の推進
基本事業名	学習成果を活かす取組
事業概要及び実施状況	本事業は市民が自ら生涯学習を行うきっかけづくりと、その学習機会を充実させることを目的としている。 また、市民の学習活動をボランティアで支援する生涯学習ボランティア講師である「楽習講師」の学習成果を、楽習講師企画講座を通して市民に還元することも目的としている。 【楽習講師数】１３６（個人：１０２、団体：３４） 【楽習講師企画講座開催回数】８講座 【延べ参加者数】　１１２人
考　察	・令和２年度は新型コロナ感染症対策のため、講座を開催しにくい状況にあったが、一部、ZOOM やLINE を利用してオンラインでの企画講座、会場定員の半分程度の人数での通常講座を行っている。今後は、パソコンやスマートフォン等インターネット環境がない人、使えない人に対して、どのように事業を行っていくかが課題である。 ・市のホームページ上に掲載を予定していた楽習講師の動画については、作成の希望はあるものの、撮影など動画作成段階での感染症対策を考慮し、動画の企画を募った段階で中断している。令和３年度中の動画完成を目指している。

（２）図書館等指定管理事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	地域とともに学び育てるまちづくり
施策名	生活を豊かにする生涯学習の推進
基本事業名	学習情報及び場の提供
事業概要及び実施状況	○事業概要 図書館及び視聴覚ライブラリーについて、サービス提供の最終責任者として、業務の監視、実地調査や報告書の内容確認などを行った。また図書館の維持管理について、適正な指導・助言を行い、施設の利用や活用の促進を図った。 図書館月例報告会を年間８回開催したほか、図書館より随時連絡や報告を受け、必要に応じて指導・助言を行った。また、図書館協議会委員による運営状況の評価を行った。 ○図書館運営状況 新型コロナウイルス感染症対策を講じながら運営を行った。緊急事態宣言が発令された際には、休館やサービスの制限をした。さらに、田沼図書館につ

いては、空調改修工事に伴い７月中旬から９月中旬まで休館した。このため他館と比べても、開館日、入館者数、貸出人数、貸出冊数が大きく減少している。その他、様々な図書に関する相談を受けるとともに、児童・生徒・職員の研修等に図書館スタッフの派遣を行った。

〇令和２年度図書館運営実績

館名	開館日（日）	入館者数（人）	貸出人数（人）	貸出冊数（点）	所蔵資料数（点）	受入冊数（冊）
佐野	239 △21.1%	79,614 △50.8%	51,580 △29.7%	209,533 △28.7%	282,836 ＋0.8%	5,857 △0.7%
田沼	180 △41.0%	37,501 △66.0%	12,369 △54.3%	60,475 △48.2%	127,956 ＋1.5%	3,508 △4.6%
葛生	239 △21.1%	22,168 △54.1%	8,195 △30.1%	34,988 △19.1%	77,304 ＋1.2%	2,343 ＋0.6%
移動図書館			1,303 △87.0%	3,008 △88.8%		
合計	658 △27.8%	139,283 △56.5%	73,447 △39.9%	308,004 △35.9%	488,096 ＋1.2%	11,708 △1.7%

（貸出冊数及び所蔵資料は視聴覚資料も含む。下段は対前年度比）

考　察

・月例報告会などをとおして、指定管理者との情報の共有が図られたことにより、小中義務教育学校との連携をさらに進めることができた。また、利用者からの要望等にも協力して解決に当たることができた。

・前年度に比べて入館者数等に減少が見られた。理由としては、新型コロナウイルス感染症対策と、田沼図書館の空調改修工事に伴う休館をしていた期間があったためと考えられる。

・新体制での運営となって２期目となり、図書館まつりやその他の事業の開催が、新たな来館者を増加させる要因となっているとみられる。今後も、より役に立つ利用しやすい図書館を目指して、指導・助言をして行きたい。

（３）放課後子ども教室推進事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	地域とともに学び育てるまちづくり
施策名	学校・家庭・地域連携による教育力の向上
基本事業名	地域の教育力を活かす取組
事業概要及び実施状況	〇事業概要 　地域住民の参画を得て、小学校区ごとに放課後子ども教室実行委員会を設置し、放課後子ども教室の運営を委託した。なお、９校区実施の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により５校区での実施となった。５

<table>
<tr>
<td></td>
<td>
校区では感染症対策を講じながら、放課後子ども教室を実施し、子どもの安全で安心な居場所を確保し、子どもたちに様々な体験・交流活動の機会を定期的、継続的に提供した。また、地域住民が関わることで、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進した。
　また、例年開催していた放課後子どもプラン運営委員会については、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。
〇放課後子ども教室実施状況
<table>
<tr><th>放課後子ども教室名</th><th>開設形態</th><th>実施回数</th><th>参加者数
（1 回平均）</th><th>実施場所</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>旗川小学校区放課後子ども教室</td><td>待機型</td><td>17 回</td><td>477 名
（28 名）</td><td>図書館、空き教室　他</td><td>折り紙、創作活動　他</td></tr>
<tr><td>石塚小学校区放課後子ども教室</td><td>待機型</td><td>64 回</td><td>2,074 名
（32 名）</td><td>校庭、空き教室　他</td><td>季節の行事、外遊び 他</td></tr>
<tr><td>出流原小学校区放課後子ども教室</td><td>待機型</td><td>19 回</td><td>115 名
（6 名）</td><td>空き教室</td><td>工作、バルーン 他</td></tr>
<tr><td>葛生小学校区放課後子ども教室</td><td>待機型</td><td>22 回</td><td>479 名
（22 名）</td><td>空き教室　他</td><td>クリケット、化石磨き　他</td></tr>
<tr><td>葛生南小学校区放課後子ども教室</td><td>待機型</td><td>19 回</td><td>155 名
（8 名）</td><td>空き教室</td><td>読み聞かせ、ゲーム、工作　他</td></tr>
</table>
〇県費補助事業　国、県各１／３、市１／３
</td>
</tr>
<tr>
<td>考　察</td>
<td>
・新型コロナウイルス感染症が拡大する中、学校や地域と協議しながら、可能な限り実施することができた。今後も、感染症対策を講じながら、子どもの安心・安全な居場所の確保を進めたい。
・新・放課後子ども総合プランにより、放課後子ども教室とこどもクラブを、一体的または連携して実施することが望ましいとされており、計画的に実施していく必要がある。今後、こどもクラブとの連携を図るために放課後子どもプラン運営委員会での協議や、こども課と生涯学習課、こどもクラブと放課後子ども教室のスタッフ間の連携を密にすることが望まれる。
・令和５年度には葛生中・常盤中学校区に、その後も他中学校区に義務教育学校の開校が予定されているが、現在放課後子ども教室のある校区も含まれる。そのため、放課後子ども教室の設置に関する調査、周知等を行い、義務教育学校の開設に伴う放課後子ども教室の開設の検討を進める。
・地域の実情に応じた新たな放課後子ども教室の形態を模索しながら、地域に根差した「安全で安心な子どもの居場所」を目指した教室となるよう検討していきたい。
</td>
</tr>
</table>

（４）新型コロナウイルス感染症対策成人式代替事業

基本目標	豊かな心を育み、学び合うまちづくり
政　策	地域とともに学び育てるまちづくり
施策名	生活を豊かにする生涯学習の推進
基本事業名	青少年の健全育成

<table>
<tr><td>事業概要及び実施状況</td><td>〇事業概要
　成人式対象者に対し、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて中止となった成人式の代替事業としてオンライン成人式を開催した。
〇実施状況
　令和３年３月２１日（日）に佐野・田沼・葛生地区共通でオンライン成人式を開催した。新成人から募集した動画企画やクイズアンケート、恩師からのメッセージ動画、市長からのお祝いのメッセージ等を YouTube チャンネルやオンライン成人式のホームページにて限定公開した。また、オンライン成人式のホームページでは新成人と恩師が利用できるメッセージボードを用意して交流した。
<table>
<tr><td>YouTube ライブ配信同時視聴者数(最大)</td><td>139 人</td></tr>
<tr><td>YouTube ライブ配信チャットメッセージ数</td><td>150 件</td></tr>
<tr><td>YouTube アーカイブ再生回数</td><td>ライブ配信後～3 月 31 日 1,405 回</td></tr>
<tr><td>ウェブサイト閲覧回数</td><td>3 月 21 日　3,230 回
3 月 21 日～3 月 31 日　3,892 回</td></tr>
<tr><td>ウェブサイト閲覧者数</td><td>3 月 21 日　441 人
3 月 21 日～3 月 31 日　613 人</td></tr>
<tr><td>ウェブサイト内メッセージルームメッセージ数</td><td>12 ルーム　28 件</td></tr>
<tr><td>動画企画参加数</td><td>ハタチの「いま」　26 人
恩師からのメッセージ 11 校 36 名</td></tr>
<tr><td>ハタチの「これまで」「いま」「これから」投票数</td><td>1218 票</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>・成人式企画運営委員として新成人者自らが企画し運営に携わることで、オンライン成人式を実施できた。オンライン成人式当日の運営だけでなく、企画や準備もオンライン上で行うことで感染拡大を防止して実施することができた。
・今後は感染症対策を講じた従来の成人式の開催を検討していきたい。</td></tr>
</table>

（５）市民大学開設事業

<table>
<tr><td>基本目標</td><td>豊かな心を育み、学び合うまちづくり</td></tr>
<tr><td>政　策</td><td>地域とともに学び育てるまちづくり</td></tr>
<tr><td>施策名</td><td>生活を豊かにする生涯学習の推進</td></tr>
<tr><td>基本事業名</td><td>学習情報及び場の提供</td></tr>
<tr><td>事業概要及び実施状況</td><td>〇事業概要
　地域住民が直面する様々な課題を解決するうえでの学習機会や、心の豊かさや生きがいを目的とした学習機会提供のため、市民大学を開設する。
　また、市民の生涯学習ニーズに的確に応えつつ、魅力ある講座内容にする</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>ため、「企画運営スタッフ」を募集し、市民大学講座の企画運営にあたっている。
〇実施状況
市民大学については、２回講座を開催し１４５人の参加があった。
<table>
<tr><th>講座名</th><th>実施日</th><th>実施場所</th><th>参加人数</th></tr>
<tr><td>「放射線によるがんの診断と治療」</td><td>8 月 30 日</td><td>中央公民館</td><td>33 人</td></tr>
<tr><td>「生かされた命に感謝して」サウンドセラピーコンサート</td><td>10 月 25 日</td><td>田沼中央公民館</td><td>112 人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>・新型コロナウイルス感染症の影響により、講座の実施は２回に止まったが、いずれの講座も参加者から概ね好評であった。
・今後は、新型コロナウイルス感染症に対する対策を講じながら、市民の要望に応えられるよう講座を実施していきたい。</td></tr>
</table>

（６）公民館利用状況

公民館名	延利用件数(件)			延利用人数(人)		
	令和 2 年度	令和元年度	増減	令和 2 年度	令和元年度	増減
中央	1,385	2,108	△ 723	11,429	26,361	△ 14,932
植野	1,163	1,848	△ 685	12,664	24,854	△ 12,190
界	887	1,510	△ 623	7,728	19,336	△ 11,608
犬伏	862	1,576	△ 714	9,484	22,196	△ 12,712
城北	1,462	2,544	△ 1,082	14,774	38,163	△ 23,389
旗川	423	752	△ 329	4,644	9,712	△ 5,068
吾妻	291	560	△ 269	3,728	8,850	△ 5,122
赤見	877	1,461	△ 584	13,075	23,901	△ 10,826
［佐野地区小計］	7,350	12,359	△ 5,009	77,526	173,373	△ 95,847
田沼中央	804	1,369	△ 565	10,264	29,797	△ 19,533
田沼地区	512	920	△ 408	5,476	12,598	△ 7,122
田沼南部	31	89	△ 58	372	1,529	△ 1,157
［田沼地区小計］	1,347	2,378	△ 1,031	16,112	43,924	△ 27,812
葛生	312	576	△ 264	3,327	6,303	△ 2,976

公民館名	延利用件数(件)			延利用人数(人)		
	令和２年度	令和元年度	増減	令和２年度	令和元年度	増減
常盤	259	433	△ 174	2,595	5,194	△ 2,599
氷室	93	182	△ 89	830	2,536	△ 1,706
［葛生地区小計］	664	1,191	△ 527	6,752	14,033	△ 7,281
［合計］	9,361	15,928	△ 6,567	100,390	231,330	△130,940

利用状況については、全体で利用件数が６，５６７件、利用人数が１３０，９４０人減少した。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館（令和２年４月１０日～５月３１日、令和３年１月１６日～２月２１日）及び利用制限を実施

委員からの意見

・オンライン講座が利用できるように、教える機会を設けてほしい。

・電子書籍の導入について検討してほしい。

前年度の委員からの意見及び報告

【意見】

街頭補導実施事業について。抑止力として期待が持てるため、継続して実施してほしい。

【報告】

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、１０月から３月まで街頭補導を実施した。今後も、青少年の非行の早期発見、未然防止を図るため、補導活動を継続して実施していく。

【意見】

ケーブルテレビとタイアップしたり、オンラインを活用したりして公民館講座を放送できないか検討してほしい。

【報告】

オンラインの活用については、公民館としての環境整備（Wi-Fi の整備など）が必要不可欠であるため、今後、環境整備に向けて関係部署と協議を行うことを検討したい。

【意見】

新しい生活様式を取り入れた公民館運営を検討してほしい。

【報告】

新しい生活様式については、各地区公民館の利用に際し、定員制限を設けるなど、密にならないような対策を実施している。また、利用者にもマスクの着用や手指消毒等を周知し、感染リスクを減らしながら活動出来るような公民館運営を実施している。

（６）文化財課・郷土博物館・葛生化石館・葛生伝承館

１　組織、事務分掌及び職員（令和２年４月１日現在）

区　　分	主　な　事　務　分　掌	職員数（人）
課長	課内全般	１
文化財保護係	文化財保護に関すること、文化財保護審議会に関すること、史跡の保存整備に関すること、埋蔵文化財に関すること	６
郷土博物館	施設設備の維持管理、郷土博物館協議会、考古・歴史・民俗等の資料収集・保管・調査研究、企画展等開催、講座・講演会の開催、博学連携事業等	３
葛生化石館	施設設備の維持管理、化石等収集・保存・管理・展示・調査研究、講座・講演会の開催、企画展等開催、学校連携事業、他博物館連携等	２（うち１人は葛生伝承館兼務）
葛生伝承館	施設設備の維持管理、郷土芸能資料収集・展示・調査研究、講座・講演会の開催、企画展開催	１
計		１３

２　点検・評価

文化財課は、佐野市総合計画に基づき、令和２年度に２７の事務事業を執行した。

その中の主な事務事業として、天命鋳物伝承保存会記録化活動支援事業、指定文化財保存修復支援事業、郷土博物館企画展等開設事業、郷土博物館講座等開設事業、郷土博物館学校利用推進事業、葛生化石館企画展等開設事業、葛生化石館講座等開設事業、葛生伝承館企画展等開設事業、葛生伝承館講座等開設事業について、次のとおり考察した。

（１）天命鋳物伝承保存会記録化活動支援事業

基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり
政　策	歴史・文化を守り育てるまちづくり
施策名	歴史・文化資源の継承と保存
基本事業名	歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承
事業概要及び実施状況	○事業概要 佐野市の伝統工芸である「天明鋳物」の後世への継承・保存を目的とし、国指定有形民俗文化財化を見据え、天命鋳物伝承保存会が取り組んでいる若林家所有の鋳物生産用具等の資料記録化作業を支援するため補助金を交付し、必要な指導・調整を行う。 ○実施状況 ・天命鋳物伝承保存会へ記録化活動支援事業補助金を交付した。（天命鋳物伝承保存会記録化活動支援事業費補助金交付要領に基づく） 記録化活動支援事業補助金　　100,000 円

	・保存会と打合せを実施し、記録化作業の進捗状況や記録化の疑義点、国・県との調整などについて、確認や意見交換を行った。
考　察	・天命鋳物伝承保存会が記録化作業を行っている若林家の生産用具等の記録化は概ね今年度内に完了する見込みである。ただし、調査カードの記載方法や記録化精度、図版・写真の照合などで、修正等が必要となるものがある。 ・将来的な国指定有形民俗文化財化を目指す場合、若林家以外の生産用具等の取り扱い、国や栃木県との調整が課題となる。

（２）指定文化財保存修復支援事業

基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり
政　策	歴史・文化を守り育てるまちづくり
施策名	歴史・文化資源の継承と保存
基本事業名	歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承
事業概要及び実施状況	○事業概要 本市に所在する文化財の適切な保存と継承のため、指定文化財等の保存に関する事業を支援する。所有者等に対し、修理や復旧等の費用負担に耐えない場合、その経費の一部について補助金を交付する。 ○実施状況 ・田沼本町会へ指定文化財保存事業費補助金を交付した。（佐野市指定文化財保存事業費補助金交付規則に基づく） 対象文化財：県指定有形文化財　木造地蔵菩薩坐像 （地蔵堂の防火対策のため）　13,600 円 ・金蔵院へ指定文化財保存事業費補助金を交付した。（佐野市指定文化財保存事業費補助金交付規則に基づく） 対象文化財：市指定有形文化財　銅造地蔵菩薩立像 （像の光背部分の修理のため）　99,000 円
考　察	・本事業の補助は「補助対象経費の額の２分の１、上限 50 万円」となっている。文化財の修理・復旧等については、費用が高額となる場合も多い。現状の予算では、少額の案件を何件か対象とする形とならざるを得ない。高額な事業については不足や１件の対応で事業が完了してしまう状況である。

（３）郷土博物館企画展等開設事業

基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり
政　策	歴史・文化を守り育てるまちづくり
施策名	歴史・文化資源の継承と保存
基本事業名	歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進

<table>
<tr><td>事業概要及び実施状況</td><td>
<table>
<tr><th>展　示　会　名</th><th>期　間</th><th>入館者数</th></tr>
<tr><td>『驚き・発見 佐野市の文化財～守り伝えられた私たちの宝もの～』</td><td>6/2～6/21</td><td>400 人</td></tr>
<tr><td>栃木県立博物館地域移動博物館『恐竜展』</td><td>8/1～9/6</td><td>4,143 人</td></tr>
<tr><td>『田中正造が愛したもの』</td><td>10/3～11/29</td><td>2,268 人</td></tr>
<tr><td>収蔵資料展『くらしのうつりかわり～古い道具と昔のくらし～』</td><td>2/23</td><td>53 人</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>100 日</td><td>6,864 人</td></tr>
</table>
・春と秋には企画展、夏には県立博物館地域移動博物館、冬には収蔵資料展を開催し、開催日数は 100 日、入館者 6,864 人、１日平均 69 人であった。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>・新型コロナウイルス感染拡大防止のために休館となり、春の企画展は 18 日間、収蔵資料展は 1 日と大幅に会期が短縮され、入館者もそれぞれ 400 人、53 人と大きく減少した。
・予定の会期どおりに開催できた夏の県立博物館地域移動博物館は 4,143 人、秋の企画展は 2,268 人と多くの来館者があった。
・年間入館者数は新型コロナウイルス感染拡大防止による休館の影響で、前年度比 4,223 人減になった。今後も感染症の拡大状況に留意しながら、企画展を開催していきたい。</td></tr>
</table>

（４）郷土博物館講座等開設事業

基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり
政　策	歴史・文化を守り育てるまちづくり
施策名	歴史・文化資源の継承と保存
基本事業名	歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進
事業概要及び実施状況	・市民を対象にした講演会を１回、講座を８講座・延べ 17 回開催を計画、見学会も３回計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためいずれも中止になった。
考　察	・新型コロナウイルス感染拡大防止のために、講演会や講座の定員を減らすなと配慮したうえで市民にとって魅力ある企画を立案していきたい。

（５）郷土博物館学校利用推進事業

基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり
政　策	歴史・文化を守り育てるまちづくり
施策名	歴史・文化資源の継承と保存
基本事業名	歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進

<table>
<tr><td>事業概要及び実施状況</td><td>
<table>
<tr><th>学習内容(学校数・人数)</th><th>期　間</th><th>実施校・人数</th></tr>
<tr><td>歴史学習・６年生
（21 校・892 人）</td><td>６～７月</td><td>2 校・27 人</td></tr>
<tr><td>きょう土につくした人々
４年生（21 校・956 人）</td><td>10～12 月</td><td>21 校・956 人</td></tr>
<tr><td>くらしのうつりかわり
３年生（21 校・935 人）</td><td>１～２月</td><td>中止</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td></td><td>983 人</td></tr>
</table>
６年生と４年生については希望した学校へ出張授業で 983 人を対象に実施したが、３年生は中止になった。
</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、博物館から出張授業で各学校へ行くことで実施した。博物館が休館になった期間は、出張授業も中止にしたため前年度比 1,697 人減と大幅に減少した。</td></tr>
</table>

（６）葛生化石館企画展等開設事業

<table>
<tr><td>基本目標</td><td>新たな流れの創造による賑わうまちづくり</td></tr>
<tr><td>政　策</td><td>歴史・文化を守り育てるまちづくり</td></tr>
<tr><td>施策名</td><td>歴史・文化資源の継承と保存</td></tr>
<tr><td>基本事業名</td><td>歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進</td></tr>
<tr><td>事業概要及び実施状況</td><td>
<table>
<tr><th>展　示　会　名</th><th>期　間</th><th>入館者数</th></tr>
<tr><td>第 14 回新着標本展</td><td>4/1～4/7</td><td>137 人</td></tr>
<tr><td>「絶滅の前と後～古生代ペルム紀末の絶滅の謎をさぐる～」展</td><td>7/18～11/23</td><td>6,124 人</td></tr>
<tr><td>第 15 回新着標本展</td><td>2/23～3/31</td><td>833 人</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>146 日</td><td>7,094 人</td></tr>
<tr><td>年間合計</td><td>207 日</td><td>9,045 人</td></tr>
</table>
・年間３回の企画展を開催し、開催日数１４６日、入館者数７，０９４人、１日平均４９人であった。
</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>・「新着標本展」について、第１４回は平成３０年度後半から令和元年度前半に、第１５回は令和元年度後半から令和２年度前半に寄贈及び収集の標本を紹介、展示した。「絶滅の前と後～古生代ペルム紀末の絶滅の謎をさぐる～」展は、ペルム紀末の大規模な絶滅がなぜ起きたかを紹介展示した。また、第１５回新着標本展は当初の予定では１／１６からの開催だったが、新型コロナウイルス感染症のため１／５～２／２１まで臨時休館となり、会期を変更し２／２３から開催した。企画展の入館者数は前年度より４，８５６人減少した。今後も親しみやすく、関心を持ってもらい、より多くの方に足</td></tr>
</table>

	を運んでもらえるような企画展を開催していきたい。

（７）葛生化石館講座等開設事業

基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり
政　策	歴史・文化を守り育てるまちづくり
施策名	歴史・文化資源の継承と保存
基本事業名	歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進
事業概要及び実施状況	○講座の内容

講　座　名	期　日	回数	参加人数
地質の日記念事業「化石とあそぼう」 （新型コロナウイルス感染症のため中止）	5/10	中止	－
葛生小学校放課後子ども教室	6/23	1	２９人
化石採集教室 （３回とも新型コロナウイルス感染症のため中止）	7/25, 11/23 3/20	中止	－
企画展関連講座 （新型コロナウイルス感染症のため中止）	８月中旬	中止	－
城北地区公民館「趣味の教室」夏休み化石教室～佐野市の化石を知ろう～	8/12	２	８２人
県立佐野高等学校附属中学校３年生	9/17	３	１０５人
化石の日記念事業「化石をまなぼう」 （新型コロナウイルス感染症のため中止）	10/4	中止	－
石塚小学校４年生	11/12	1	２７人
ジオウォーキング （新型コロナウイルス感染症のため中止）	11/3	中止	－
葛生南小学校放課後子ども教室	12/8	1	８人
北中学校「佐野学」１年生	1/19, 1/26	２	５７人
計		１０	３０８人

・他事業協力は新型コロナウイルス感染症の影響で連携するイベントが中止となったため実施なし。

・学芸員を講師とした学校利用の講座と出張講座に、合わせて３０８人が参加した。

考　察	・化石館では、自然科学を身近に感じることができるようにと体験型講座に力を入れており、化石採集教室やジオウォーキング、化石を含んだ石灰石を磨く体験、化石を探すミニ体験など多彩なプログラムを準備している。近年は各小中学校に積極的にＰＲ活動を行い、徐々に認識されてきたことで、児童生徒の利用が増えてきている。しかし、新型コロナウイルス感染症のため、主催行事が全て中止となり、学校利用の講座や学校への出張体験講座も減少した。講座の実施に際しては感染防止対策を講じたうえで行っている。今

	後も参加者が、自然科学に親しみ興味を深められるよう創意工夫して講座を開設していきたい。 ・令和２年度の開館日数は２０７日で、入館者は９，０４５人となり、前年度より８，９６４人の減であった。その要因は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい。今後も、継続的に研究して成果を出していきたい。

（８）葛生伝承館企画展等開設事業

基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり
政　策	歴史・文化を守り育てるまちづくり
施策名	歴史・文化資源の継承と保存
基本事業名	歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進
事業概要及び実施状況	

展　示　会　名	期　間	入館者数
雛人形展	4/1～4/7	58 人
牧歌舞伎と吉澤人形頭展【前期】	6/2～6/21	325 人
牧歌舞伎と吉澤人形頭展【後期】	7/14～9/22	1,342 人
羽子板展	10/6～12/27	1,188 人
雛人形展	2/23～3/31	509 人
合　　計	186 日	3,422 人
年間合計	186 日	3,422 人

・年間４回の企画展を開催し、開催日数１８６日、入館者数３，４２２人、１日平均１８人であった。

考　察	・企画展の入館者数は新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉館期間があり、前年度より２，１００人減少した。高齢者の利用も多いことから大幅な減少となった。 ・郷土芸能の保存・伝承に努め、特に県指定文化財「吉澤人形頭」９３体については、平成１６年より計画的に修繕を行い８９体が終了している。それらは順次展示して公開している。 ・広報等で、雛人形等の出展協力を呼びかけることにより、市民参加型の展示をめざし、徐々に市民に認知されてきている。 ・今後も内容の充実を図りながら、地域の歴史・文化に対する理解促進に寄与し、佐野市内の特色を生かした企画展示に取り組み、来館者増へつながるよう努力したい。

（９）葛生伝承館講座等開設事業

基本目標	新たな流れの創造による賑わうまちづくり
政　策	歴史・文化を守り育てるまちづくり
施策名	歴史・文化資源の継承と保存

<table>
<tr><td>基本事業名</td><td>歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進</td></tr>
<tr><td>事業概要及び実施状況</td><td>〇講座の内容
<table>
<tr><th>講　座　名</th><th>期　日</th><th>回数</th><th>参加人数</th></tr>
<tr><td>こどもの日　民話語り</td><td>5/5</td><td>中止</td><td>―</td></tr>
<tr><td>万華鏡を作ろう
「葛生こどもクラブ」</td><td>8/7</td><td>１</td><td>２３人</td></tr>
<tr><td>楽しく絵付け　私の羽子板
～羽子板に絵を描こう～</td><td>11 月中旬</td><td>中止</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">合計</td><td>１</td><td>２３人</td></tr>
</table>
・佐野ふるさと民話の会を講師とするこどもの日の講座と、伝承館職員を講師とする講座の３回を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により、１回のみの実施で２３人の参加となった。</td></tr>
<tr><td>考　察</td><td>・令和２年度は新型コロナウイルス感染症のため、こどもの日の講座をはじめ、８月以外の講座が中止となった。
・令和２年度の開館日数は１８６日で、入館者は３，４２２人となり、前年度より２，１００人の減であった。その要因は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい。今後も参加しやすく関心を持ってもらえる講座を開催していきたい。</td></tr>
</table>

委員からの意見

・ 天明鋳物を市の宝として保存し、もっと広めていってほしい。

・ 子どもたちのために今後もよい企画を実施してほしい。

前年度の委員からの意見及び報告

【意見】

学校で郷土博物館の見学をする際に、田中正造旧宅についても合わせて見学できないか、検討してほしい。

【報告】

郷土博物館の学校利用においてはスクールバスを利用し、午前１０時から１１時３０分位の予定で見学を実施している。これに旧宅見学を合わせて実施すると、遠方の学校では移動時間を要し、学校カリキュラムやバス利用との兼ね合いから半日での実施は困難であると考える。

【意見】

文化財は地域の歴史や文化の程度を表すもので、大変重要と考える。保護して後世に伝えるために、今後も管理をお願いしたい。

【報告】

文化財の管理は、原則、所有者や管理者がこれを行うことになっている。しかしながら、

費用面で負担に耐えない場合や管理方法についての疑義が生じる場合もある。市内に所在する文化財の適切な保存・活用は市の責務であるため、市所有の文化財については勿論、その他の文化財についても可能な範囲において、管理や保存についての支援や助言を行っていきたい。

【意見】

郷土博物館「中根東里展」について。令和元年東日本台風（台風第１９号）により開催直後に中止になってしまったため、再度開催を検討してほしい。

【報告】

多くの市民からも再開についての要望が寄せられており、郷土博物館では令和３年１０月から「中根東里展」を再開する計画で、準備を進めている。

４　全体を通しての委員からの意見

委員からの意見

・教員の資質向上に今後も努めてほしい。

・GIGAスクール構想を生かし、子どもの学びの向上や教職員の負担軽減につながるような取組をしてほしい。

・今後、今まで以上に、新型コロナウイルス感染拡大が懸念されます。デルタ株は児童生徒にも感染しやすいとのことなので、休校中の学びを保障するためのオンライン学習の充実と先手の対応をお願いしたい。

前年度の委員からの意見及び報告

【意見】

前年度の数値が併記してあったので比較検討しやすかった。

【報告】

報告書については、今後も分かりやすい記載を心がけたい。

【意見】

新型コロナウイルス感染症により、学校の運営は大変難しくなっている。子どもたちが安心して学校生活を送れるように努めてほしい。

【報告】

学校では、基本的な感染症対策として、マスクの着用、こまめな手洗いの徹底、毎朝の検温・健康状態の確認、児童生徒がよく触れる箇所の消毒等を行っております。また、３密を避ける工夫をしながら教育活動を行っております。

今後も、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう感染症対策に努めながら、児童生徒の健やかな学びを保障してまいりたいと考えております。

【意見】

インターネットを利用することで学習内容の充実や教員の指導力向上も期待できるので、ぜひ活用してほしい。

【報告】

ＧＩＧＡスクール構想の下整備した、児童生徒１人１台端末は、クラウド（インターネット）の利用を原則としている。クラウド（インターネット）の特性を生かした学習指導の充実が図れるよう、教員の指導力の向上を教育センターとして図りたい。

令和2年度執行事務事業一覧（教育委員会関係）

基本目標	〔前期基本計画〕 政策	施策	基本事業名	R2 事務事業名	R2 担当課名
2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり					
	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり				
		2 歴史・文化資源の継承と保存			
			1 歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承		
				文化財保護調査事業	文化財課
				文化財保護審議会運営事業	文化財課
				指定文化財保存修復支援事業	文化財課
				唐沢山城跡保存整備事業	文化財課
				唐沢山城跡保存整備事業（令和元年度繰越）	文化財課
				天命鋳物伝承保存会記録化活動支援事業	文化財課
				全国史跡整備市町村協議会参画事業	文化財課
			2 歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進		
				田中正造旧宅一般公開支援事業	文化財課
				郷土博物館維持管理事業	文化財課（郷土博物館）
				郷土博物館運営事業	文化財課（郷土博物館）
				郷土博物館協議会運営事業	文化財課（郷土博物館）
				日本博物館協会参画事業	文化財課（郷土博物館）
				栃木県博物館協会参画事業	文化財課（郷土博物館）
				郷土博物館企画展等開設事業	文化財課（郷土博物館）
				郷土博物館学校利用推進事業	文化財課（郷土博物館）
				郷土博物館講座等開設事業	文化財課（郷土博物館）
				郷土資料保存三好館維持管理事業	文化財課（郷土博物館）
				郷土資料保存三好館運営事業	文化財課（郷土博物館）
				田中正造関係資料購入事業	文化財課（郷土博物館）
				葛生伝承館維持管理事業	文化財課（葛生伝承館）
				葛生伝承館運営事業	文化財課（葛生伝承館）
				葛生伝承館企画展等開設事業	文化財課（葛生伝承館）
				葛生伝承館講座等開設事業	文化財課（葛生伝承館）
				葛生化石館維持管理事業	文化財課（葛生化石館）
				葛生化石館運営事業	文化財課（葛生化石館）
				葛生化石館企画展等開設事業	文化財課（葛生化石館）
				葛生化石館講座等開設事業	文化財課（葛生化石館）
	2 誰もが住みたいと思う魅力あるまちづくり				
		2 移住・定住の促進			
			2 定住化の促進		
				佐野市奨学金返済助成事業	教育総務課
3 健やかで元気に暮らせるまちづくり					
	1 健康で安心して暮らせるまちづくり				
		1 心と体の健康づくりの推進			
			1 健康づくりの推進		
				小学校児童フッ化物洗口事業	学校教育課
	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				
		1 豊かで健やかな長寿社会の実現			
			1 生きがいづくりと社会参加の促進		
				佐野各地区敬老会開催事業	生涯学習課
				佐野各地区敬老会開催支援事業	生涯学習課
				田沼各地区敬老会開催事業	生涯学習課
				田沼各地区敬老会開催支援事業	生涯学習課
				葛生各地区敬老会開催事業	生涯学習課
				葛生各地区敬老会開催支援事業	生涯学習課
4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり					
	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり				
		1 特色ある教育と心の教育の推進			
			1 生きる力の育成		
				教育委員会運営事業	教育総務課
				栃木県市町村教育委員会連合会参画事業	教育総務課
				学校評議員制度推進事業	教育総務課
				コミュニティ・スクール推進事業	教育総務課
				栃木県へき地複式分校教育振興会参画事業	学校教育課
				栃木県へき地複式分校教育研究会参画事業	学校教育課
				外国青年英語指導助手指導事業	学校教育課
				佐野日本大学短期大学英語教育連携事業	学校教育課
				小学校教員海外派遣研修事業	学校教育課
				ランカスター市中学生相互交流事業	学校教育課
				栃木県養護教育研究会参画事業	学校教育課
				就学事務	学校教育課
				学校新聞推進事業費	学校教育課
				教科用図書採択協議会運営事業	学校教育課
				学校芸術祭運営事業	学校教育課
				特色ある道徳教育支援事業	学校教育課
				学校教育指導計画作成事業	学校教育課
				科学教育推進事業	学校教育課
				心の教育推進事業	学校教育課
				さわやか教育指導員配置事業	学校教育課
				さわやか健康指導員配置事業	学校教育課
				特別非常勤講師配置事業	学校教育課
				善行賞表彰事業	学校教育課
				小学校健康管理支援事業	学校教育課
				栃木県小学校長会参画事業	学校教育課
				栃木県公立小中学校教頭会参画事業（小学校）	学校教育課
				小学校体育連盟記録会等開催支援事業	学校教育課
				小学校学校保健会支援事業	学校教育課
				日本語教室事業	学校教育課
				小学校研究指定校研究事業	学校教育課

令和2年度執行事務事業一覧（教育委員会関係）

基本目標	〔前期基本計画〕			R2 事務事業名	R2 担当課名
	政策	施策	基本事業名		
				小学校部活動指導者派遣事業	学校教育課
				小学校特色ある学校づくり支援事業	学校教育課
				小学校部活動支援事業	学校教育課
				小学校クラブ活動支援事業	学校教育課
				保育園・幼稚園・小学校教育研究推進事業	学校教育課
				小学校教師用教科書・指導書整備事業	学校教育課
				小学校準教科書給与事業	学校教育課
				小学生英語検定料助成事業	学校教育課
				東日本大震災に伴う被災児童就学援助事業	学校教育課
				小学校就学援助事業	学校教育課
				新型コロナウイルス感染症対策小学校就学援助事業	学校教育課
				海の自然体験活動推進事業	学校教育課
				3・4年生社会科副読本発行事業	学校教育課
				市長賞表彰事業	学校教育課
				中学校健康管理支援事業	学校教育課
				中学校文化連盟運営支援事業	学校教育課
				中学校体育連盟大会開催支援事業	学校教育課
				栃木県中学校長会参画事業	学校教育課
				栃木県公立小中学校教頭会参画事業（中学校）	学校教育課
				中学校学校保健会支援事業	学校教育課
				中学校研究指定校研究事業	学校教育課
				中学校教師用教科書・指導書整備事業	学校教育課
				中学校準教科書給与事業	学校教育課
				中学校道徳副読本整備事業	学校教育課
				東日本大震災に伴う被災生徒就学援助事業	学校教育課
				中学校特色ある学校づくり支援事業	学校教育課
				中学校部活動支援事業	学校教育課
				中学生英語検定料助成事業	学校教育課
				中学校就学援助事業	学校教育課
				新型コロナウイルス感染症対策中学校就学援助事業	学校教育課
				中学校運動部活動指導者派遣事業	学校教育課
				小学校新型コロナウイルス感染症対策携帯用手指消毒液配布事	学校教育課
				中学校新型コロナウイルス感染症対策携帯用手指消毒液配布事	学校教育課
				中学校卒業生新型コロナウイルス感染症対策事業	学校教育課
				新型コロナウイルス感染症対策中学校修学旅行等応援事業	学校教育課
				学校臨時休業対策支援事業	学校教育課
				栃木県不登校適応指導研究会参画事業	教育センター
				アクティヴ教室運営事業	教育センター
				学校給食センター運営協議会運営事業	学校教育課
				学校給食研究会運営事業	学校教育課
				学校給食費未納対策事業	学校教育課
				学校給食費管理システム導入事業	学校教育課
			2 教職員の資質の向上		
				教員研修事業	学校教育課
				調査研究事業	教育センター
				栃木県教育研究所参画事業	教育センター
				諸検査実施委託事業	教育センター
				教育講演会開催事業	教育センター
				教職員の指導力向上事業	教育センター
				教育センター維持管理事業	教育センター
				情報教育アドバイザー活用事業	教育センター
			3 小中一貫教育の推進		
				小中一貫教育推進事業	学校教育課
			4 特別支援教育の推進		
				栃木県特別支援学校教育振興会参画事業	学校教育課
				教育支援委員会運営事業	学校教育課
				特別支援学級支援員配置事業	学校教育課
				特別支援教育運営事業	教育センター
				スクーリング・サポート事業	教育センター
				巡回相談事業	教育センター
			9 基本事業外（庶務経費）		
				教育委員会事務局運営事業	教育総務課
				学校教育事務	学校教育課
				学校給食事務	学校教育課
		2 安全で安心して学べる教育環境の整備			
			1 安全で快適な学校施設の整備		
				学校整備基金積立金	学校管理課
				栃木県公立学校施設整備期成会参画事業	学校管理課
				学校管理事務事業	学校管理課
				小学校運営事業	学校管理課
				小学校維持管理事業	学校管理課
				小学校校内緑化環境推進事業	学校管理課
				小学校屋内運動場改修事業	学校管理課
				小学校エアコン設置事業	学校管理課
				小学校トイレ洋式化事業	学校管理課
				小学校トイレ洋式化事業(R1年度繰越)	学校管理課
				小学校遊具改修事業	学校管理課
				小学校校舎屋根外壁改修事業	学校管理課
				小学校エレベーター改修事業費（R1年度繰越）	学校管理課
				小学校教育推進事業	学校管理課
				小学校スクール・サポートスタッフ配置事業	学校管理課
				小学校校納金管理システム導入事業	学校管理課
				小学校新型コロナウィルス感染症対策予防事業	学校管理課
				小学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業	学校管理課

令和2年度執行事務事業一覧（教育委員会関係）

基本目標	〔前期基本計画〕			R2 事務事業名	R2 担当課名
	政策	施策	基本事業名		
				小学校新型コロナウィルス感染症対策学習環境整備事業	学校管理課
				小学校新型コロナウイルス衛生環境改善事業	学校管理課
				中学校運営事業	学校管理課
				中学校維持管理事業	学校管理課
				中学校屋内運動場改修事業	学校管理課
				中学校校内緑化環境推進事業	学校管理課
				中学校エアコン設置事業	学校管理課
				中学校トイレ洋式化事業	学校管理課
				中学校トイレ洋式化事業(R1年度繰越)	学校管理課
				葛生中学校移転事業	学校管理課
				常盤中学校屋内運動場改修事業	学校管理課
				城東中学校受水槽改修事業	学校管理課
				中学校教育推進事業	学校管理課
				中学校スクール・サポートスタッフ配置事業	学校管理課
				中学校校納金管理システム導入事業	学校管理課
				中学校新型コロナウィルス感染症対策予防事業	学校管理課
				中学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業	学校管理課
				中学校新型コロナウィルス感染症対策学習環境整備事業	学校管理課
				中学校新型コロナウイルス衛生環境改善事業	学校管理課
				小学校ICT環境維持管理事業	教育センター
				中学校ICT環境維持管理事業	教育センター
				ICT活用自学自習支援事業	教育センター
				小学校GIGAスクール構想推進事業	教育センター
				中学校GIGAスクール構想推進事業	教育センター
				学校給食アレルギー対策事業	学校教育課
				南部学校給食センター児童生徒給食費	学校教育課
				南部学校給食センター管理運営事業	学校教育課
				南部学校給食センター調理・配送業務委託事業	学校教育課
				南部学校給食センター喫食用食器更新事業	学校教育課
				北部学校給食センター児童生徒給食費	学校教育課
				北部学校給食センター管理運営事業	学校教育課
				私立学校新型コロナウイルス感染症対策支援事業	教育総務課
			2 市立学校の適正規模適正配置の推進		
				小中学校適正配置推進事業	学校管理課
				田沼西地区小中一貫校整備事業	学校管理課
				田沼西地区小中一貫校整備事業(R1逓次繰越)	学校管理課
				葛生・常盤中学校区小中一貫校整備事業	学校管理課
				葛生小学校校舎改修事業費(R1年度繰越)	学校管理課
			3 地域ぐるみで行う児童生徒の安全対策の充実		
				通学路安全対策事業	教育総務課
				小学校スクールバス運行事業	学校管理課
				小学校生活路線バス回数券交付事業	学校管理課
				中学校スクールバス運行事業	学校管理課
				中学校生活路線バス回数券交付事業	学校管理課
				小学校日本スポーツ振興センター参画事業	学校教育課
				中学校日本スポーツ振興センター参画事業	学校教育課
				安全情報共有システム実施事業	教育センター
			4 教育の機会均等に資する奨学金制度の拡充		
				奨学資金貸付事業	教育総務課
	2 地域とともに学び育てるまちづくり				
		1 生活を豊かにする生涯学習の推進			
			1 学習情報及び場の提供		
				作原野外活動施設指定管理事業	生涯学習課
				栃木県社会教育委員協議会参画事業	生涯学習課
				生涯学習推進協議会運営事業	生涯学習課
				生涯学習に関する職員等研修会事業	生涯学習課
				生涯学習情報収集・発信事業	生涯学習課
				両毛広域生涯学習ネットワーク推進事業	生涯学習課
				全国生涯学習市町村協議会参画事業	生涯学習課
				全国生涯学習まちづくり協会参画事業	生涯学習課
				生涯学習推進支援事業	生涯学習課
				社会教育委員設置事業	生涯学習課
				社会教育指導員設置事業	生涯学習課
				社会教育担当職員研修会派遣事業	生涯学習課
				図書館協議会運営事業	生涯学習課
				図書館等指定管理事業	生涯学習課
				佐野各地区公民館維持管理事業	生涯学習課
				佐野各地区公民館運営事業	生涯学習課
				公民館運営審議会運営事業	生涯学習課
				中央公民館市民教養講座開催事業	生涯学習課
				中央公民館維持管理事業	生涯学習課
				中央公民館運営事業	生涯学習課
				栃木県公民館連絡協議会参画事業	生涯学習課
				佐野各地区公民館市民教養講座開催事業	生涯学習課
				公民館親と子の交流活動事業	生涯学習課
				田沼各地区公民館活動支援事業	生涯学習課
				田沼中央公民館維持管理事業	生涯学習課
				田沼各地区公民館維持管理事業	生涯学習課
				田沼中央公民館運営事業	生涯学習課
				田沼各地区公民館運営事業	生涯学習課
				田沼中央公民館市民教養講座開催事業	生涯学習課
				田沼各地区公民館活動事業	生涯学習課
				葛生（常盤・氷室）公民館維持管理事業	生涯学習課
				葛生文化センター維持管理事業	生涯学習課

令和2年度執行事務事業一覧（教育委員会関係）

基本目標	〔前期基本計画〕			R2 事務事業名	R2 担当課名
	政策	施策	基本事業名		
				葛生地区公民館市民教養講座開催事業	生涯学習課
				葛生地区公民館維持管理事業	生涯学習課
				葛生（常盤・氷室）公民館運営事業	生涯学習課
				葛生地区公民館運営事業	生涯学習課
				各地区公民館PCB廃棄物処理事業	生涯学習課
				各地区公民館高圧受電設備改修事業	生涯学習課
				中央公民館空調設備等改修事業	生涯学習課
				赤見地区公民館進入路改良事業	生涯学習課
				図書館受電設備等改修事業	生涯学習課
				田沼図書館空調設備改修事業	生涯学習課
				市民大学開設事業	生涯学習課
			2 学習成果を活かす取組		
				生涯楽習フォーラム開催事業	生涯学習課
				楽習出前講座開催事業	生涯学習課
				プログラム開発実践講座開催事業	生涯学習課
				生涯学習活躍人養成講座推進事業	生涯学習課
				佐野市小中学校PTA連絡協議会支援事業	生涯学習課
				佐野市原水爆禁止協議会支援事業	生涯学習課
				栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会佐野支部支援事業	生涯学習課
				「小さな親切」運動佐野支部支援事業	生涯学習課
				佐野ユネスコ協会支援事業	生涯学習課
				佐野市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会支援事業	生涯学習課
				唐沢子供会支援事業	生涯学習課
				佐野市子ども会連合会支援事業	生涯学習課
				佐野市民間指導員会支援事業	生涯学習課
				葛生ジュニアリーダースクラブ支援事業	生涯学習課
			3 青少年の健全育成		
				佐野・芦屋青少年交流事業	生涯学習課
				青少年活動育成促進事業	生涯学習課
				佐野市の青少年とともに育つ市民の会支援事業	生涯学習課
				成人式開催事業	生涯学習課
				成人式企画運営事業	生涯学習課
				新型コロナウイルス感染症対策成人式代替事業	生涯学習課
				子ども会ジュニアリーダー研修会開催事業	生涯学習課
				子ども会育成者研修講座開催事業	生涯学習課
				青少年相談事業	生涯学習課（少年指導センター）
				安足地区青少年育成連絡協議会参画事業	生涯学習課（少年指導センター）
				学童野球・ソフトボール振興会支援事業	生涯学習課（少年指導センター）
			9 基本事業外（庶務経費）		
				生涯学習推進事務	生涯学習課
		2 学校・家庭・地域連携による教育力の向上			
			1 いじめ問題に対する学校・家庭・地域の連携		
				いじめ問題対策事業	学校教育課
				いじめ防止アドバイザー活用事業	学校教育課
				いじめ防止推進事業	学校教育課
				教育相談事業	教育センター
				心の教室相談員活用事業	教育センター
			2 家庭教育支援の推進		
				家庭教育推進講座開催事業	生涯学習課
			3 地域の教育力を活かす取組		
				中学生マイ・チャレンジ（職場体験）事業	学校教育課
				放課後子ども教室推進事業	生涯学習課
				地域学校協働活動推進事業	生涯学習課
5 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり					
	1 安全で安心して暮らせるまちづくり				
		2 交通安全・防犯・消費者対策の推進			
			3 防犯意識の高揚と防犯体制の整備・充実		
				佐野市暴力追放連合会参画事業	教育総務課
				街頭補導実施事業	生涯学習課（少年指導センター）
				少年補導員会運営支援事業	生涯学習課（少年指導センター）
6 美しい自然、環境と調和するまちづくり					
	2 地球環境に配慮したまちづくり				
		1 再生可能エネルギーの活用と省エネルギー対策の推進			
			2 省エネルギー対策の推進		
				佐野市教育委員会エネルギー管理事業	教育総務課
7 市民参加による自立したまちづくり					
	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり				
		1 市民と協働した地域づくりの推進			
			2 市民活動団体への支援と連携強化		
				水見地区コミュニティ推進協議会備品購入支援事業	生涯学習課
			3 地域活動の充実		
				田沼各地区コミュニティセンター維持管理事業	生涯学習課
				佐野市コミュニティ推進連絡協議会支援事業	生涯学習課
				会沢地区コミュニティセンター維持管理事業	生涯学習課
		2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現			
			1 人権意識の高揚と人権問題の解決		
				人権教育研究会運営事業	学校教育課
				学校教育における人権教育研究推進事業	学校教育課
	1 政策体系外				
		2 災害復旧・復興対策の推進			
			7 災害復旧・復興対策の推進		
				台風第19号に伴う小学校災害復旧事業（R1年度繰越）	学校管理課